

家庭内の「秘密」の壁と
社会の「無理解」の狭間で苦しむ子どもたちと
子どもだった方たちのために

2019/8/18sun
10:00~16:30

家庭内性虐待への対応

～「えんたく」を用いて、被害者の声を聴き、
「専門家」と「市民」がより適切な対応を考える～

家庭内の父から娘への性虐待は残念ながらそれほど稀有なことではありません。ところがそれは家庭内の「秘密」という厚くて高い壁に囲まれていて、外からはうかがいしれず、なかなか表にはでません。そして被害者が勇気をもってようやくその秘密を開示したとしても、「無理解」の厚くて高い壁が立ちふさがります。刑事事件として訴えることは難しく、民事事件として訴えたとしても、同意がなかったことの証明を求められ、結局、「無罪」ということもしばしばです。

主催者である「一般社団法人もふもふネット」では、性暴力被害者の方たちのグループを実施しています。今年に入り相次ぐ監護者からの性暴力無罪判決を受け、当事者であるメンバーたちがこの企画を発案してくれました。

会場のみなさんと被害体験についての理解を深め、隣人として、社会としてどのように対応していくことが望まれるのか、どのように対応を変えていけるのかについて話し合うことを目指します。

会場：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三ホール
(大阪市北区中之島4-3-53)

参加費
無料

定員
100名

事前
申込制

主催：一般社団法人もふもふネット

共催：JST社会技術研究開発センター（RISTEX）「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域採択プロジェクト

「多様化する嗜癖・嗜虐行動からの回復を支援するネットワーク（ATA-net）の構築」研究代表者・石塚伸一（龍谷大学）

第1部 講演 10:00~12:00

「家庭内性虐待の特徴」

藤岡 淳子（大阪大学大学院 人間科学研究科 教授）

「家庭内性虐待の被害者の心理と適切な支援について」

野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授）

「家庭内性虐待への法的対応：現状と課題」

笠原 麻央（長野総合法律事務所 弁護士）

家庭内性虐待への法的対応と心理的支援について、専門家の話から現状と問題点を押さえます

第2部 えんたく 13:00~16:30

進行：藤岡 淳子（大阪大学大学院 人間科学研究科 教授）
野坂 祐子（大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授）
毛利 真弓（同志社大学心理学部 准教授）
坂東 希（NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝）

家庭内性虐待被害者たちとその母親たち、そして法律や心理・福祉の専門家たちで、リフレクティング・トークを用いてその体験を伺います。

最後は、参加者全員で対話をします。ぜひ感じたことを分かち合ってください。

グループ1:

家庭内性虐待被害体験を持つ女性たち

グループ2:

家庭内性虐待被害体験のある娘をもつ母親たち

グループ3:

法律・心理・福祉の専門家・支援者たち

参加申込方法

下記サイト／QRコードより必須事項を入力の上お申し込みください。PC環境がない場合のお申し込みやその他お問い合わせについては、mmori@mail.doshisha.ac.jp（同志社大学：毛利）まで

<https://www.kokuchpro.com/event/entaku0818/>

